

市指定文化財<無形民俗>

いでた ししまい
出田の獅子舞

指定日 昭和56年3月30日

所在地 菊池市出田



創建850年前といわれるこの村の氏神、若宮神社に奉納されるのが出田の獅子舞であり、下出田、植古閑の氏子により、11月25日秋祭の夜に舞われる。関係者一同が神社でお祓いを受け、豆絞りの鉢巻に手甲、脚半、黒の股引の先導役の打つ拍子木、「ソーレ」の掛け声に導かれ、青・赤2頭の獅子が横笛・太鼓の伴奏で、大きく右に3歩、左に3歩と交互に斜め前方に緩い動きで進む単調な舞である。

先導役を先頭に長老・拍子木・獅子・太鼓・笛と総勢24～5名の行列で、座元の家から集落を回ったあと神社の周りを右回りに3回舞って奉納される。その由来は明らかではないが、舞の形などからかなり古くからの伝承だという。獅子頭をいただき、悪魔を払い、息災延命を祈祷する神楽の一種が獅子舞といわれる。全国的には11月か12月酉の日に行われている。